



平成 25 年 5 月 10 日

各 位

会社名 澁澤倉庫株式会社
代表者名 取締役社長 笠原伸次
(コード番号 9304 東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部総合企画部長
大 隅 毅
(TEL 03-5646-7263)

澁澤グループ中期経営計画「Step Up 2016」の策定について

当社は、2010年5月に2013年3月期を最終年度とする中期経営計画「SUCCESS 2012」を策定し、物流事業の収益力強化、不動産事業における保有資産の付加価値増大を進めてまいりました。2013年3月期の実績は、中期経営計画「SUCCESS 2012」で掲げた経営目標に対し、営業収益では若干目標に届かなかったものの、営業利益、経常利益、営業利益率については、ほぼ目標値を達成することができました。

当社グループを取り巻く環境は、国内では製造業の海外移転、少子高齢化などが進む一方で、海外では経済のグローバル化の進展により新興国を中心に消費が拡大するなど、引き続き大きな変化が予想されます。当社といたしましても、これらの変化に対応し、収益力を高め経営基盤をより一層安定させるとともに、更なる成長を目指し2016年度を最終年度とする4カ年の中期経営計画「Step Up 2016」を策定いたしました。

I. 基本方針

物流事業の収益力向上と成長力強化、不動産事業の安定的利益基盤の維持拡大により、創業120周年を迎える2016年度に、収益性と成長性で現状より一段高いレベルを達成し、「高い効率性と特色に富んだ物流企業」となることを目指します。

II. 事業戦略

(1) 物流センター一括受託業務の更なる拡大

前中期経営計画で業務が拡大した、三大都市圏における消費財向け物流センター一括受託業務の競争力を一層向上させ、引き続き増加が見込まれる製品輸入の取扱を増やすことで、当該業務の更なる拡大を目指します。

(2) 物流サービスの付加価値向上

従来の保管、荷役、輸配送などにとどまらず、検品やセット組み、景品取り付けなどの流通加工サービス、オフィス移転に伴うレイアウト設計や内装工事などのファシリティマネジメントサービス、高齢者およびその家族を対象とした生活支援や各種諸手続き代行サービスなど、物流サービスの領域拡大による付加価値の向上を目指します。

(3) 物流事業と不動産事業の融合による新たな付加価値の創造

横浜地区、大阪地区における所有地の老朽化した倉庫建物の建て替えにより、物流センター機能に多目的スペースを併設する施設を新設することで、物流機能とオフィス、試験研究施設、流通加工などのお客様が必要とする機能をワンストップで提供し、収益、利益の拡大を目指します。

(4) 海外拠点の拡充と既存海外拠点の業域の拡大

アジアにおける海外拠点の新設によるネットワークの拡充と既存の海外拠点における現地国内物流業務を含めた業域の拡大、ローカル化を推進し、海外事業の収益の拡大、採算の向上を進めます。

(5) 不動産事業の収益性確保

適切な施設のメンテナンスと環境面も配慮したビル管理サービスの提供により、既存の賃貸用不動産におけるテナント満足度を向上させ、不動産事業における賃貸収益を安定的に維持拡大していきます。

(6) 経営基盤の強化

財務体質の改善、コンプライアンスの徹底、災害などに対するリスク管理の強化、長期的視野に立った人材の育成を柱として、経営基盤の強化を進めます。

III. 経営目標

本中期経営計画は、2013年度（平成25年度）を開始年度、2016年度（平成28年度）を最終年度とする4ヵ年計画とします。

<業績目標>

2016年度（平成28年度）の連結業績として、次の目標数値を達成します。

営業収益	600億円
営業利益	35億円
経常利益	30億円
営業利益率	5.8%

(参考)

2012年度（平成24年度）との比較

	2016年度 (平成28年度)	2012年度 (平成24年度)	2012年度比	
			(増減額)	(増減率)
営業収益	600億円	534億円	+66億円	+12%
営業利益	35億円	27.8億円	+7.2億円	+26%
経常利益	30億円	24.8億円	+5.2億円	+21%
営業利益率	5.8%	5.2%		

* 2012年度は、平成25年3月期決算数字

以 上